

2012年 今夏も、

英語による「サマープログラム」を開講!

お茶の水女子大学では、学生のキャリア発展と海外学生との交流促進を願い、昨年に引き続き本年も、英語によるサマープログラムを開講いたします。本学国際化戦略の一環として、国際的に活躍できるグローバル人材の育成や学生の双方向交流の推進を目指しています。

サマープログラムは、2012年7月、留学生を含む本学学生、並びに国内協定校の特別聴講学生向け(単位互換)に集中講義として開講すると同時に海外協定校等からの留学生を受け入れ、また科目等履修生として一般の皆様を対象に開講します。意欲ある学生や一般の皆様の参加を期待します。

今年のテーマは3つ。開催日程と場所、テーマの概要は下記のとおりです。

期 間 2012年7月23日(月)～27日(金)
場 所 お茶の水女子大学(東京都文京区大塚)

<テーマ1>「現代日本の社会政策、教育、家族、発達に関するパースペクティブ」

講義の概要 本授業では5名の学際的な教員が現代日本の社会政策、教育、家族、子どもの発達に関する様々なパースペクティブをプレゼンする。各セッションは講義とディスカッションから構成されている。学生の活発なディスカッションへの参加を期待する。

<テーマ2>「形と色の科学」

講義の概要 私たちの身のまわりには、様々な形や色をした物質や生物が存在します。その形(構造、集合体)や色の実体が何であるか、また何を意味するかについて、数学・物理学・化学・生物学・情報学などの理学的な学問が解き明かしてくれます。本講義では、形や色に関わるサイエンスについて、理学部の教員がオムニバス形式でそれぞれの研究分野の視点から英語で解説します。さらに、各専門分野での最新トピックスについても、わかりやすく紹介します。

<テーマ3>「東アジア世界における儀礼と権力」

講義の概要 東アジア世界では歴史的にみても国家権力がその正統性を内外に主張する装置として、儀礼が大きな意味を持ってきました。たとえば明治期に近代国家としてスタートを切った日本では、天皇の儀礼は、国内外に対して政治的にたいへん重要な役割を果たすものとして政府によって意図的に位置づけられ、現代日本社会に至っています。本講義では、明治期の皇室と儀礼を中心に扱い、現代政治学や現代中国文学などの教員による比較の視点からの講義とあわせて、わかりやすく英語で考えたいと思います。あわせて授業時間内に明治神宮の实地見学も行う予定です。

※講義はすべて英語で行われます。

※受講対象は

- (1)留学生を含む本学学生(学部及び大学院)と国内協定校の特別聴講学生です。
- (2)充実のプログラムとサポート体制で海外協定校等からの留学生を受け入れます。
(今年度(独)日本学生支援機構による奨学金支給制度があります。)
- (3)一般の方は、科目等履修生として受け入れます。

(本学HP：http://www.ocha.ac.jp/campuslife/r_auditor.html)

※募集定員 各30名(定員を超えた場合には選考により参加を決定することがあります。)

※日程等は本学HPをご覧ください。(本学HP：http://www.ocha.ac.jp/news/summer_prog_2012.html)

◆お問い合わせ・お申し込み◆

〒112-8610 東京都文京区大塚 2-1-1 お茶の水女子大学 教務チームリーダー 山本 隆
電 話：03-5978-5138 E-mail：kyomu@cc.ocha.ac.jp